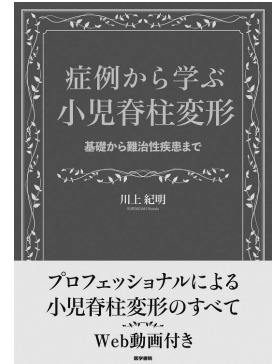


症例から学ぶ小児脊柱変形 基礎から難治性疾患まで

川上紀明・著

評者 南 昌平 (聖隷佐倉市民病院)

A4判・308頁
2025年10月
定価：19,800円
(本体18,000円＋税10%)
ISBN978-4-260-06225-1
医学書院 刊



川上紀明著『症例から学ぶ小児脊柱変形—基礎から難治性疾患まで』は脊柱側弯症について、隅々まで全てを網羅した内容の記述・描画・動画にあふれております。まさに川上先生が現在まで診療・研究に当たられた、その数々の経験に基づいた知見の集大成であるといっても過言ではないと思います。

以前、私どもの世代が側弯症診療に携わるようになった頃には、脊柱変形診療の唯一のバイブルともいわれていた Moe, Winter, Bradford, Lonstein 共著による『Scoliosis and Other Spinal Deformities』(1978年初版発刊)がありました。時代の変遷により、側弯症の診断・治療が大きく様変わりし、診療に携わる者にとって知識量も膨大なものとなっておりますが、本書は、当時私どもが思い描いていたもの以上に、大きく超えて、最新の知識をもたらしてくれる、新たなバイブルとなるものと確信しております。

本書は総論と各論に分かれており、総論では診断、保存治療、手術治療について、基本的な考え方、方法・手技がこと細かく記され、基礎から難治性疾患までの副題のとおり、大変重要な部分を占めております。手術治療の考え方とその実際の項では基本的な手術手技の説明から高度な技術が必要とする脊椎骨切り術、先生がわが国における

開発・普及に大きく貢献した、難度の高い成長温存手術についてまで解説されております。各論では特発性側弯症をはじめとして、症候性側弯症、先天性側弯症、骨系統疾患に伴う脊柱変形など、希少疾患を含めた全てのあらゆる疾患についての記述がみられ、それぞれの疾患については、ご自身で経験された多くの症例呈示を組み込み、さらに治療技術についての動画での解説を加味することにより、非常に理解しやすく、示唆に富む内容となっております。また、長期経過を含めて、治療選択・結果について考察していますが、特に難治例への取り組みは秀逸で、治療戦略への解説は読者にとって、非常に有益となるものと思われる。

脊柱変形治療の歴史は Harrington instrumentation を嚆矢とする脊椎 instrumentation の歴史ともいわれ、大きく進歩しています。川上先生の、時代を先取りするかのような、革新的な発想と長年にわたって築かれた多くの経験と相まって、最新の構想・知見が綴られている感があります。序文に脊柱変形治療に携わる若手医師から中堅医師を想定していると記されていますが、まさに本書が格好の指南書となっており、多くの方々に役立つものと思われます。